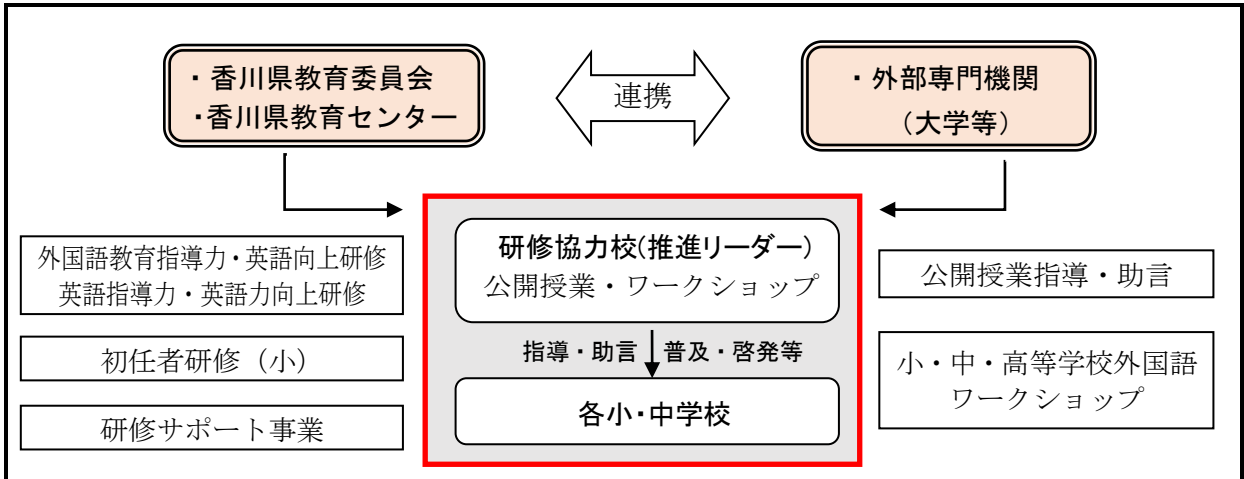


(様式3-2)

# 香川県英語教育改善プラン

## 実施内容

## (1) 研修体制の概要



## (2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

## ○英語教育の状況を踏まえた目標管理

本県では、「英語教育実施状況調査」の結果を踏まえ、教員の指導力・英語力向上及び生徒の着実な英語力向上を図るため、以下の目標設定と管理の下で本事業を実施する。

## ①求められる英語力を有する中・高等学校英語科教師の全担当教員に占める割合

※ ( ) 内は H30 年度達成値

【R1 目標値】 [中学校] 50% (39.9%) [高等学校] 90% (85.0%)

- ・求められる英語力を有する中学校英語教員の割合を 5 割以上にするため、外部講師や英語教育推進リーダー等による指導力・英語力向上研修を計画・実施する。また、小学校英語科教員の指導力・英語力について向上を図るため、体験型の研修を実施する。
- ・教員の資質・能力の向上を図り、その成果や今後の目標を把握するために英語資格検定試験の受験料を補助する。英語教員や管理職を対象とした研修等の機会に、英語資格検定試験による資格取得について周知を図り、受検を促進する。
- ・教育事務所や市町（学校組合）教育委員会と連携し、要請訪問等の際に英語資格検定試験の受験を促す。
- ・高校においては、学校訪問等の機会に英語教員に 4 技能試験を教員自身が受験し続けることの重要性について意識付けを行う。

## ②求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合

【R1 目標値】 [中学校] 50% (35.2%) [高等学校] 50% (36.9%)

- ・ 4 技能をバランスよく指導し、統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成するため、大学教授等を招聘した研修を実施し、参加者による模擬授業等の実践的な研修を行うなど、授業改善を図る。また、生徒に身に付けさせたい力を明確にし、言語活動の充実を図るため、学習到達目標の公表を促すとともに、達成状況の把握から授業改善を図ることができるよう周知する。
- ・ 県で実施している学習状況調査（2 年生）を 4 技能調査とし、民間のスピーキングテストを実施する。調査の結果については、成果や課題、改善策等を各校の英語担当教員に周知し、生徒の英語力を高めるよりよい学習指導について具体を挙げて指導・助言する。
- ・ A L T 等指導力向上研修に小・中学校の英語担当教員の希望者を募り、効果的なチームティーチングの在り方について協議したり、模擬授業をしたりする機会を設け、児童生徒が英語を運用する機会を増やすことに努める。
- ・ 今後一層、生徒が英語で表現する能力が求められることから、平成 31 年度から県立高校に

においてALTを2名増員し、生徒の英語力の向上を図る。

- ・民間による英語4技能資格・検定試験の大学入試への活用の時期が近づいていることから、民間事業者に委託して県立高校1年生の受験希望者を対象とした資格・検定試験を実施するとともに、教員を対象とした試験結果分析会を行い、指導改善を図る。
- ・「トビタテ留学！JAPAN」や県独自の留学支援制度について、各県立高校に十分な周知を行うとともに、中高生を対象とした「留学フェア」等を実施することにより、授業以外でも英語学習に対する動機づけを図る。

③「CAN-DO リスト」の形で領域別に設定した学習到達目標の整備状況（設定・公表及び達成状況の把握等の状況）

【R1 目標値】〔中学校〕 設定 100%(95.8%) 公表 60%(4.5%) 把握 70%(39.4%)

〔高等学校〕 設定 100%(100%) 公表 25%(18.0%) 把握 100%(40.0%)

- ・「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標は、生徒が学習していく上で明確な指標となることから、保護者への公表や生徒の実態を把握することによる授業改善を進め、研修や連絡協議会の際に、その必要性について指導・助言等を行い、各校での活用を図る。
- ・研修協力校において公開授業を行い、「CAN-DO リスト」の活用を通じてどのような指導方法がよいのか、何をねらいにした授業づくりをしていくのか、具体的に示して普及を図る。
- ・高校においては、生徒の英語4技能の向上のために、教員によるCAN-DO リストの作成・公表・達成状況の把握の3点について、学校の指導訪問や英語科主任会等で情報共有と指導を行う。

④授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合

【R1 目標値】〔中学校〕 90%(94.2%) 〔高等学校〕 55%(36.0%)

- ・英語教育推進リーダーによる研修実習や公開授業等を通じて、英語を用いた言語活動が中心となった授業の在り方や、その有効性について理解を深めるとともに、指導技術を学ぶ。研修実習に参加した教員は、校内研修等の機会に研修の成果を普及する。
- ・教育事務所や市町（学校組合）教育委員会と連携し、生徒の英語による言語活動が中心の指導方法等について指導・助言する。
- ・高校においては、生徒の英語による言語活動の時間を増やすために、ペアワーク・グループワークを基本とした学習形態が主流となるよう、英語科主任会や学校訪問時等に助言を行う。
- ・高校においては、授業において、見通しをもった英語による帯活動を推進する。その際、英語教育推進リーダーによる研修実習の内容も参考にすよう指導する。

⑤「話すこと」及び「書くこと」における「外国語表現の能力」を評価するためのスピーキングテスト、ライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

【R1 目標値】スピーキングテスト〔中学校〕 4回(2.9回)

ライティングテスト〔中学校〕 4回(2.4回)

〔高等学校〕

(平成30年度実績)

	コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅲ	英語表現Ⅰ	英語表現Ⅱ
スピーキングテスト	1.06	0.68	0.08	0.9	0.18
ライティングテスト	1.14	1.24	0.58	2.3	2.2

	総合英語	異文化理解
スピーキングテスト	0.18	0
ライティングテスト	0.22	0

(2022年度目標値)

英語コミュニケーションⅠ	スピーキング 1.5	ライティング 2.0
コミュニケーション英語Ⅱ	スピーキング 1.5	ライティング 2.0
コミュニケーション英語Ⅲ	スピーキング 0.5	ライティング 1.0

論理・表現Ⅰ	スピーキング 0.5	ライティング 3.0
英語表現Ⅱ	スピーキング 0.5	ライティング 2.5

- ・大学教授や英語教育推進リーダーによる研修等を通じて、言語活動の評価の在り方について理解を深めるとともに、パフォーマンステストの効果的な実施や評価について協議するなどして、一層の充実を図る。
- ・生徒が「話す力」と「聞く力」を確実に身に付けることができるよう、計画的・系統的な指導や評価の重要性を説明する。
- ・県の英語の学習状況調査（2年生）に民間のスピーキングテストを加えた4技能調査とし、生徒の英語力の実態を把握する。また、調査結果を分析し、指導の改善につながるよう、各学校に改善の方向を示す。
- ・民間事業者に委託して県立高校1年生の受験希望者を対象とした資格・検定試験を実施するとともに、教員を対象とした試験結果分析会を行い、指導改善を図る。
- ・平成31年度から、ALTを2名増員することにより配置日数を増やす県立高校に対し、生徒の「話す力」・「聞く力」の向上について検証できるよう、取組の計画と報告を求める。

#### ⑥授業における、英語科教師の英語使用状況

【R1 目標値】〔中学校〕90%(91.8%) 〔高等学校〕80%(46.6%)

- ・英語教育推進リーダーによる研修実習等を通じて、生徒が英語に触れる機会を充実させる授業の在り方や、その有効性について理解を深めるとともに、指導力の向上を図る。研修実習に参加した教員は、校内研修等の機会に研修の成果を普及する。
- ・教育事務所や市町（学校組合）教育委員会と連携し、学校を訪問する際、教師による発話だけでなく、生徒とインタラクティブを図りながら言語活動を展開する指導方法等を指導・助言する。
- ・高校においては、全ての学校訪問で、基本的に授業は英語で行うことについて指導する。
- ・高校においては、平成31年度から、ALTを2名増員し、県立高校のうちALTの配置日数を増やす高校に対し、英語科教師の授業での英語使用の頻度を向上させる計画と報告を求める。

#### ⑦研修実施回数、研修受講者の人数及び全英語科教師（小学校においては全教員）に占める割合

【R1 目標値】

〔小学校〕	9回 300人	（9回 339人）
〔中学校〕	9回 200人	（9回 223人）
〔高等学校〕	9回 165人	（9回 140人）

- ・小学校外国語における読むこと、書くことに関する指導の改善、中学校における4技能をバランスよく育成する指導の改善を図るために、公開授業及び研究協議、ワークショップ等を研修協力校において計画・実施する。
- ・大学教授等を招聘し、教員の指導力と英語力の向上をねらいとした講座形式の研修を計画・実施する。

### （3）研修の体系と内容の具体

教員の指導力・英語力向上に向けて、以下の研修を実施する。各研修後にアンケート調査を実施しその結果を検証するとともに、成果と課題を次年度以降の研修に反映させる。

【小学校教員対象】

#### ○ 外国語教育指導力・英語力向上研修（50名程度×3回）

小学校から中核的な教員、中・高等学校から英語担当教員を集め、英語教育推進リーダーを講師とした3日間の研修会を県教育センターで開催する。この研修会を継続することで、新学習指導要領の全面実施となる平成32年度までには、県内すべての小学校に、本研修を受講した中核教員が配置されるよう計画する。

- 英語教育推進リーダーによる公開授業及び授業研究（50名程度×2回）  
英語教育推進リーダーが公開授業を実施し、その成果を県内に普及する。授業後は、大学教授等を講師に招き、指導力・英語力向上に向けた具体的な指導助言をいただく。若年教員には公開授業、研究協議等の参加を義務付け、リーダーの指導技術について協議をすることで、優れた実践を伝承していく機会とする。
  - 小学校外国語ワークショップ（80名程度）  
新学習指導要領の実施に向け、小学校教員を主な対象とし、中学年での外国語活動、高学年での教科化について研修を行い、教員の指導力の向上を図る。特に、読むこと、書くことの指導に重点を置いた研修を実施し、効果的な言語活動の在り方について学ぶ。
  - 初任者研修  
小学校教員を対象とした初任者研修一つとして、これまでに認定されている複数の小学校英語教育推進リーダーによる研修を実施する。初任者が研修を受講するため、今後、研修を受講していない教員を生まないようにできる。
- 【中学校教員対象】
- 英語指導力・英語力向上研修（50名程度×3回）  
英語教育推進リーダーを講師とした研修を県教育センターで実施する。平成27年～令和元年までの5年間で全ての中学校英語科教員が受講するようにする。
  - 英語教育推進リーダーによる公開授業及び授業研究（25名程度×2回）  
英語教育推進リーダーが公開授業を実施し、その成果を県内に普及する。授業後は、大学教授等を講師に招き、指導力・英語力向上に向けた具体的な指導助言をいただく。若年教員には公開授業、研究協議等の参加を義務付け、リーダーの指導技術について協議をすることで、優れた実践を伝承していく機会とする。
  - 中学校外国語ワークショップ（30名程度）  
新学習指導要領の実施に向け、中学校英語科教員を対象に大学教授等を講師とした体験的なワークショップを実施する。特に、4技能をバランスよく育成するための指導に重点を置いた研修を実施し、効果的な言語活動の在り方について学ぶ。
- 【小・中学校教員対象】
- 外国語指導助手の指導力等向上研修  
ALTと小・中学校の英語担当教員の指導力向上を図るため、効果的なチームティーチングの在り方等について協議したり、模擬授業を行ったりする研修を実施する。
  - 教育課程運営改善連絡協議会  
協議会では、指導方法の工夫改善や評価に関する研究協議等を行い、教育課程の確実な実施に資する。国や県の施策について理解を深めたり、公表されている資料等の活用を促したりする。英語教育推進リーダーによる実践の成果を周知し、外国語の授業について改善を図る。
  - 研修サポート事業  
学校からの要請により、県下の学校の校内研修や授業研究に指導主事等を派遣する。教材研究や指導案作成等についても指導・助言する。
- 【高等学校教員対象】
- 英語指導力・英語力向上研修（40名程度×3回）  
英語教育推進リーダーを講師とした研修を県教育センターで実施する。平成27～31までの5年間で全ての高等学校英語科教員が受講するようにする。
  - 新教育課程説明会  
新高等学校学習指導要領について、その趣旨の説明及び研究協議を行い、求められる技能を身に付けるための授業展開について考え、効果的な言語活動の在り方を学ぶ。
  - 英語科主任会（例年5月）において「実施状況調査」の数値結果を示し、改善すべき点を共有し、各学校での取組みへの反映を促す。
  - 研修サポート事業  
学校からの要請により、県下の学校の校内研修や授業研究に県教育センターや高校教育課指導主事等を派遣する。教材研究や指導案作成等についても指導・助言する。

## (4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月		
5月	第1回運営委員会（小・中） 英語科主任会（高）	英語教育推進リーダー
6月	第1回外国語教育指導力・英語力向上研修 第1回英語指導力・英語力向上研修 第1回高等学校英語指導力・英語力向上研修	英語教育推進リーダー 英語教育推進リーダー 英語教育推進リーダー
7月	第2回運営委員会（小・中） 第2回外国語教育指導力・英語力向上研修 教育課程運営改善連絡協議会（西部）	英語教育推進リーダー 英語教育推進リーダー 英語教育推進リーダー
8月	第2回英語指導力・英語力向上研修 第3回運営委員会（小・中） 第2回高等学校英語指導力・英語力向上研修 第3回外国語教育指導力・英語力向上研修 第3回英語指導力・英語力向上研修 教育課程運営改善連絡協議会（東部） 新教育課程説明会（高）	英語教育推進リーダー 英語教育推進リーダー 英語教育推進リーダー 英語教育推進リーダー 英語教育推進リーダー 英語教育推進リーダー
9月	第1回公開授業及び授業研究（高松市立一宮小学校） 中学校外国語ワークショップ	鳴門教育大学 大学教授等
10月	第2回公開授業及び授業研究（三豊市立山本小学校） 第3回高等学校英語指導力・英語力向上研修 第3回公開授業及び授業研究（直島町立直島中学校）	比治山大学 英語教育推進リーダー 香川大学
11月	第4回公開授業及び授業研究（観音寺市立豊浜中学校）	広島大学
12月		
1月	授業改善に向けての協議会（小・中）	
2月	外国語指導助手の指導力等向上研修 小学校外国語ワークショップ	国際交流協会等 大学教授等
3月		
<b>【その他の取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領が移行期間となり、小学校での学習を踏まえた指導が中学校で行われるよう、小・中学校の英語教育について連携を図るよう推進する。</li> <li>・小学校高学年での英語教科化に備え、これまで作成した小学校5・6年生用学習指導案や教材（70時間分）を県教育センターのホームページに掲載し、活用を促す。</li> </ul>		

